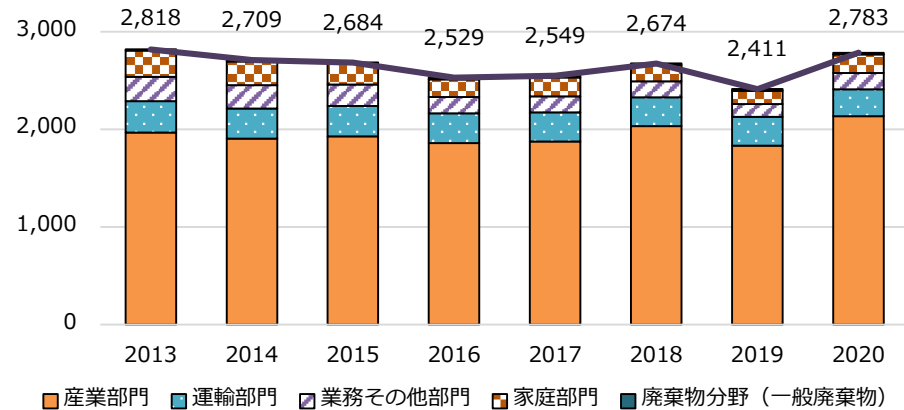


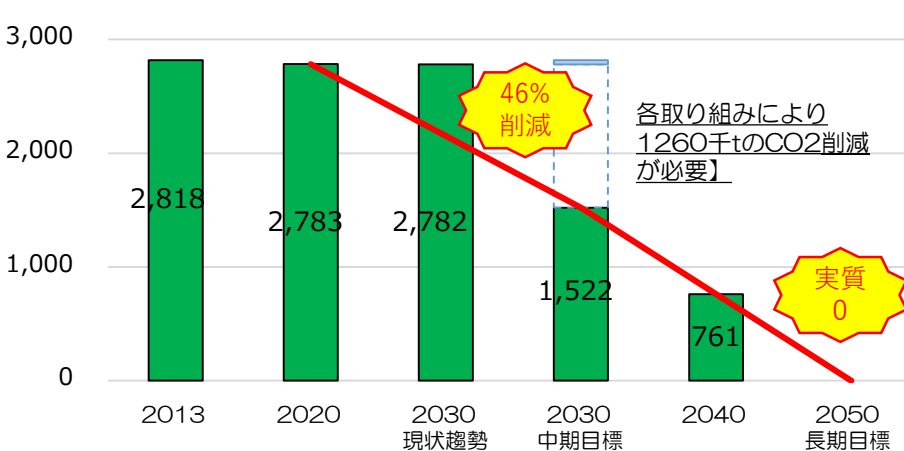
本市の温室効果ガス排出量の現況と削減目標

【温室効果ガス排出量の推移】 千t-CO₂



本市における温室効果ガス（CO₂）の排出量は2013年度以降、減少傾向にありましたが、2017年度以降、増減しており、2020年度現在では2,783 千t-CO₂となっています。また、70%以上が産業部門からの排出であり、全国や愛媛県全体に比べても、産業部門からの排出の占める割合が大きいのが特徴です。

【温室効果ガス排出量削減目標】 千t-CO₂



本計画では、国の「地球温暖化対策計画」や「新居浜港・東予港（東港地区）港湾脱炭素化推進計画」との整合を図り、市民・事業者・行政が一丸となり、市内全域から排出される温室効果ガスを2030年度までに2013年度比で46%削減、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを目指して取り組んでいくこととします。

【2050年までに実現すべき姿（将来ビジョン）のイメージ】



みんなで取り組もう ストップ！温暖化！



第3次にはま環境プラン

新居浜市環境基本計画
及び環境保全行動計画

新居浜市地球温暖化対策地域計画

実行計画
区域施策編



本市では「第3次にはま環境プラン」を令和6年度に策定し、目指す環境像を次のとおり掲げるとともに、「地球温暖化対策地域計画」及び「エコアクションプランにはま」を改訂し、市民一人ひとりが環境にやさしいライフスタイルへの転換を進めながら、市民・事業者・行政の各主体が協働して、持続可能な社会を築き、2050年ゼロカーボンシティ新居浜の実現を目指します。

目指す
環境像

歴史を未来につなぐ あかがねのまち
ゼロカーボンシティにはま

計画期間

令和6年度～令和12（2030）年度

にはま環境
プランの体系
と各施策

第3次にはま環境プランでは、環境基本条例に定める6つの項目に「災害対策」を加えた7つの項目を分かりやすく4つのプロジェクトに分け、本市の将来を見据え、多様化する環境問題や環境を取り巻く社会情勢の変化に対応していくための指針とします。



プロジェクト1

自然と文化を大切に安心して暮らせるまち

市民が健康で安心して日常生活を送る生活環境を良好な状態に保全するため、豊かな水資源、緑あふれる森林やこれらを取り巻く動植物の生態系をまもり、環境にやさしく、自然や文化と共生した暮らしの実現を目指します。



市が取り組む施策		主要取組項目（抜粋）		
<ul style="list-style-type: none"> ○大気・水・森林・農地・水辺・生物多様性・歴史・文化・景観の保全 ○有害物質の監視 ○公害・防災・減災の対策 ○食の安全 ○強靱なまちづくり 		大気・排水の監視、騒音等公害対策、下水道整備		
		計画的な森林整備、木質バイオマスの利活用支援		
		優良農地の保全、耕作放棄地対策		
		水辺環境の整備と活用、河川保全		
		貴重な動植物等の保護、野生鳥獣・外来生物対策		
		食の安全、地産地消の推進、食育の推進		
		減災環境基盤の整備、公園等の防災機能の確保		
		景観、文化財、近代化産業遺産の保全・活用		
成果指標（抜粋）	指標の説明	R4基準値	R12目標値	
① 大気環境基準	大気環境基準達成状況	達成	達成	
② 生活排水処理率	公共下水・合併処理浄化槽整備率	83.9%	92.5%	
③ 耕作放棄地面積	耕作放棄地適正化	85ha	70.9ha	

プロジェクト2

資源が循環し魅力的な都市空間を持つまち

限りある水資源、森林資源の保護や廃棄物に関して、市民一人ひとりがライフスタイルを見直し、日常生活や事業活動で排出される廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を促進するとともに、利用できない廃棄物を適正に処分する資源循環型のまちの実現を目指します。



市が取り組む施策		主要取組項目（抜粋）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの減量、ごみ処理の適正化 ○3Rの推進 ○水資源の循環 ○都市環境・緑地の保全、緑化の推進 		一般廃棄物処理基本計画に基づく処理、不法投棄対策		
		3Rの推進、プラスチック資源循環、食品ロス削減		
		総合的かつ計画的な水道事業の推進、水資源の有効活用		
		公園緑地の整備、自転車走行空間の整備		
成果指標（抜粋）	指標の説明	R4基準値	R12目標値	
① ごみ排出量	市民一人が一日に排出するごみの量	1,020g	891g	
② リサイクル率	資源ごみのリサイクル率	12%	15%	
③ 自転車利用走行空間整備率	自転車利用走行空間整備率	29%	35%	

プロジェクト3

産業の発展と地球環境の保全を両立するまち

本市の地域特性を生かし、恵まれた自然環境を守りながら地域産業の活性化に向けた取組を推進し、市民、事業者が共に環境意識を高め、環境に配慮した主体的な行動を促す仕組みをつくることで、温室効果ガス排出が少ない低炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換、産業の発展と地球環境の保全の両立を目指します。



市が取り組む施策		主要取組項目（抜粋）		
<ul style="list-style-type: none"> ○省エネルギー促進 ○再生可能エネルギー導入促進 ○面的、次世代エネルギーの検討 ○脱炭素を促進するまちづくり 		省エネ設備導入の促進、環境に配慮した事業活動の普及		
		再エネ導入・ビジネスの事業化支援、再エネ利活用の促進		
		面的エネルギーシステム・次世代エネルギーの導入検討		
		エネルギー効率を高める都市整備、再生可能エネルギーの率先導入、市の事務事業におけるCO2削減		
成果指標（抜粋）	指標の説明	R4基準値	R12目標値	
① 公共施設太陽光発電設備導入率	導入可能な公共施設への太陽光発電設備導入率	43.7%	50%	
② 新居浜市SDGs推進企業登録数	環境に配慮した取組を行う企業数	18件	35件	
③ 市の事務事業におけるCO2排出量削減率	2013（平成25）年度比温室効果ガス総排出量削減	18.8%	46%	

プロジェクト4

環境学習・環境人材の育成に取り組むまち

持続可能な社会を創ることを目指し、小・中学校での体験学習を実施するほか、「にいほま環境市民会議」や「新居浜市地球高温暖化対策地域協議会」において環境課題を自らの問題としてとらえた活動を推進し、将来的に個人や団体の主体的な活動を促すことを目指します。



市が取り組む施策		主要取組項目（抜粋）		
<ul style="list-style-type: none"> ○環境教育・学習の推進 ○持続可能なまちづくり、環境意識向上の普及啓発 ○環境団体の育成・協働・連携促進 		環境学習の機会と場の充実、E S Dの推進		
		ライフスタイル転換促進の普及啓発、自主的取組の支援		
		市民団体等の育成、協働連携の促進、環境リーダー、ボランティアの人材育成		
成果指標（抜粋）	指標の説明	R4基準値	R12目標値	
① 環境教育取組学校数	総合的な学習の時間における環境教育取組学校数（累計）	5校	35校	
② 環境活動参加者数	環境活動・イベント参加者数	1,726人	2,500人	
③ 地球高温暖化対策地域協議会会員数	登録会員数（個人・団体）	292件	300件	